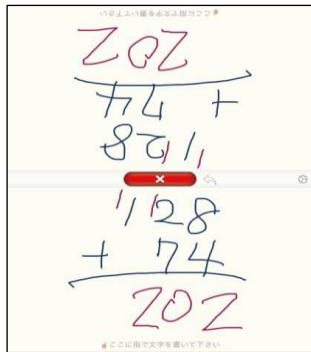


教科・領域	数学	学校・学部	特別支援学校（知的障害）高等部
単元名	実務 ―金銭の計算―		
単元のねらい	・金銭について関心を持ち、主体的に活動に参加する。 ・小遣い帳に収入、支出を記入する。		
I C T 機 器 の 活 用			
使用する機器等	iPad（カメラ、写真、筆談パッド） 大型テレビ、Apple TV		
ねらい	・一斉指導では理解が難しい生徒に、テレビ画面と同じ画面を iPad で提示することで、集中して説明を聞くことができる。 ・計算ミスを繰り返す生徒に、筆談パッドでどこが間違っているかを明確に提示することで学習の理解を深める。		
実践	・12名の学習集団に大型テレビを用いて一斉指導を行っている。一斉指導では教師の説明を聞くことが難しい生徒に、テレビ画面と同じ画面を iPad で提示して授業を行う。（サブティーチャーは状況に応じて iPad 使用生徒に個別に支援を行う）		
〔機器の使い方や工夫〕	・計算方法の理解に時間がかかる生徒や計算ミスの多い生徒、計算のどの部分が理解できていないかを明確にするため、筆談パッドで個別支援を行う。 ・教師側の計算式を訂正すると、同時に生徒側の計算式が訂正され理解しやすくなっている。	＜一斉指導と個別支援＞ 	
	＜筆談パッド 画面＞		
効果改善点等	・テレビ画面での全体指導では説明を聞くことが難しい生徒に対して、手元に iPad の画面を置くことで、課題を注視し取り組めるようになった。 ・個別支援では生徒によって一斉指導につなげていく方法を検討する必要がある。また、生徒に iPad を使用するか選択させることも必要である。 ・筆談パッドは、教師が書いた部分と生徒が書いた部分の色を変えることができる。この機能により、生徒がどこで間違えたかを理解しやすく、自ら進んで直そうとする姿につながった。		